

施工・取扱説明書

このたびは弊社二重床をご採用いただきありがとうございます。
製品の特性を十分に生かし、安全で美しい仕上がりに施工して
いただくために本書をよく読み、正しくお取り扱いください。

(お問い合わせ先)
販売元：万協株式会社
TEL：03-5424-0707
製造元：泰成株式会社
TEL：0265-83-1138
商品仕様は予告なく変更することがあります。
取替えパーツ供給可能期間は生産中止から10年です。



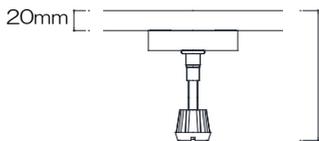
注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物質的損害の発生が想定される内容を示しています。

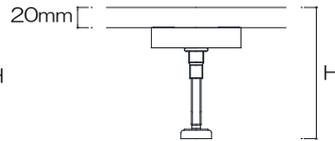
梱包内容の確認

■ 遮音用

■ 補強用 (間仕切下地)



YPE 型支持脚



WP 型支持脚

品番	適応床高(H)mm	標準入数	品番	適応床高(H)mm	標準入数
YPE-60	54 - 66	100	WP-50	43 - 50	100
YPE-70	62 - 76	100	WP-55	45 - 60	100
YPE-80	71 - 102	100	WP-70	55 - 86	100
YPE-90	81 - 117	100	WP-80	65 - 101	100
YPE-125	102 - 144	80	WP-105	86 - 128	80
YPE-145	111 - 174	80	WP-125	95 - 158	80
YPE-175	141 - 204	80	WP-155	125 - 188	80
YPE-205	171 - 234	80	WP-185	155 - 218	80
YPE-235	201 - 264	50	WP-215	185 - 248	50
YPE-250	207 - 292	50	WP-230	191 - 276	50
YPE-310	267 - 352	50	WP-290	251 - 336	50
YPE-370	327 - 412	40	WP-350	311 - 396	40
YPE-430	387 - 472	40	WP-410	371 - 456	40
YPE-490	447 - 532	40	WP-470	431 - 516	40
YPE-550	507 - 592	30	WP-530	491 - 576	30
YPE-610	567 - 652	30	WP-590	551 - 636	30
YPE-670	627 - 712	30	WP-650	611 - 696	30
YPE-730	687 - 772	20	WP-710	671 - 756	20
YPE-790	747 - 832	20	WP-770	731 - 816	20
YPE-850	807 - 892	20	WP-830	791 - 876	20
YPE-910	867 - 952	20	WP-890	851 - 936	20
YPE-970	927 - 1012	20	WP-950	911 - 996	20
YPE-1030	987 - 1072	20	WP-1010	971 - 1056	20
YPE-1090	1047 - 1132	20	WP-1070	1031 - 1116	20

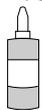
※標準入数の半数未満は、接着剤別売となります。

※YPE-250、WP-230 からボルトの径が変わります。

※適応床高は床パネル厚さ 20 mm を示します。

- 施工・取扱説明書 (本書) 1部
- 接着剤 (BA-400 又は BA-200)

冬季など低温度、乾燥時は硬化しにくい場合がありますが、品質に問題は有りません。



注意

接着剤のラベルに書かれている注意事項をよく読んでご使用ください。

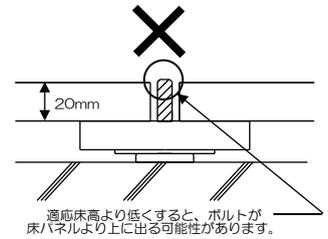
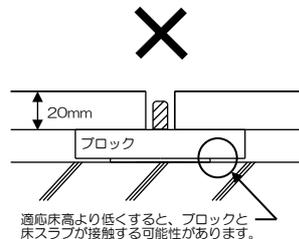
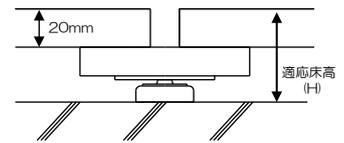
別途用意するもの

- ①床パネル (万協指定パーティクルボード F☆☆☆☆)
床パネルは濡らさないで下さい。
- ②捨張り合板 (必要な場合のみ)
- ③釘及びビス
 - ・床パネル固定用 スクリューネイル・コーススレッド 半ねじフレキ付き
 台座の厚さ 20 mm は 38 mm を 15 mm は 32 mm を使用。
 ・捨張り固定の注意
 注 1) 9 mm 未満の合板を使用する場合、釘・ビス等が合板を突抜け、合板の浮きが発生する恐れがありますので充分注意願います。
 注 2) 合板留付けの釘・ビス等が床パネルを突抜けると配管を傷付ける恐れがありますので長さの選定には充分注意願います。

適応床高が低い品番の施工上の注意事項

下記品番を使用する際は、必ず適応床高の範囲にて施工してください。
(※下記図の下段のような施工とならないようご注意ください。)

品番	適応床高 (H) mm
YPE-60	54-66
YPE-70	62-76
WP-50	43-50
WP-55	45-60



※支持脚と床パネルの固定に長さ 38 mm のビス・釘を用いると、床スラブと接触する可能性があります。必ず 32 mm のビス・釘を用いてください。
 ※長さ 32 mm のコーススレッド (半ねじタイプ、フレキ付き) の使用を推奨します。

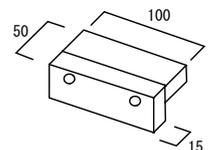
④ガムテープ

⑤施工工具一式

- ・電動丸鋸
- ・インパクトドライバー
- ・カッター
- ・スケール
- ・掃用具 (ほうき、ちりとり)
- ・釘打ち機 (コンプレッサー)
- ・水平器
- ・ドライバー
- ・水糸

⑥隙間ゲージ

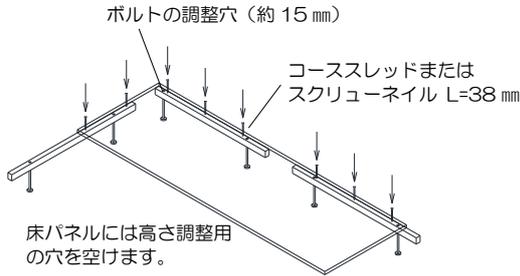
厚さ 15 mm の合板又は木材で、右記形状のものを 4 個以上作ります。



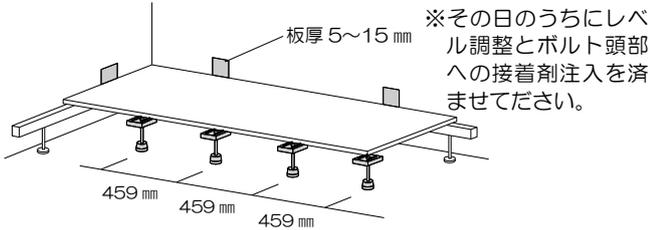
施工前に床コンクリート面を清掃してから始めます。

①床パネルの敷き込み

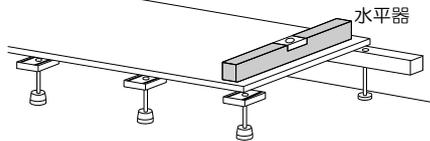
- ア) 壁際は床パネルにシステムネダを取り付けます。
 ※壁際は、ネダを壁に先付する方法、支持脚受けでも施工出来ます。
 ・システムネダを壁に先付する場合の施工については、別途「システムネダ、防振システムネダ施工要領書」を参照下さい。
 ・細部納まりは、現場ごとで異なります。現場でご確認下さい。



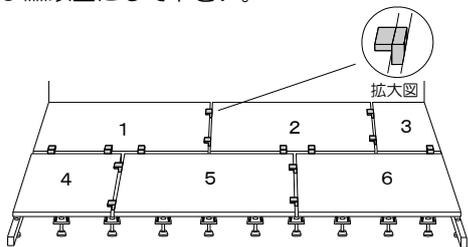
イ) 壁との間に約 5~15 mm 隙間を設けます。支持脚のシールを剥がし、459 ピッチで床パネルの側面と台座テープが直交する向きで貼り付けます。台座よりボルトが出る場合、ゴム底面に接着剤を塗布します*。



ウ) 床パネルに水平器を置き、ボルト部を廻して床パネルを水平に調整します。



エ) 2 枚目以降の床パネルは 15 mm の隙間 (目地) を開けて敷きこみます。この時、隙間ゲージを使用して下さい。床パネルは、短手方向に張っていきます。(下図の 1~6 の順番) 張り仕舞いで、床パネルの幅が 200 mm 以下になる場合、前列の床パネル幅をカットし、200 mm 以上にして下さい。



②床パネル固定

床パネル上からスクリーネイル又はコーススレッド (長さ 38 mm) を打ち固定します。下図の位置に打って下さい。



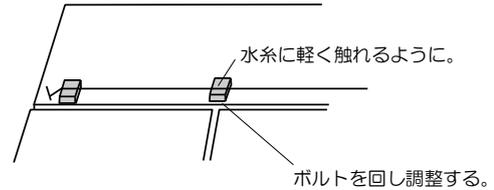
スクリーネイルの場合 コーススレッドの場合

③レベル (床高) 調整

- ・壁際を基準として床パネルの目地に沿って水系を張り、両端にスペーサ (同じ厚みのもの) を挟み、もう一つスペーサを用意して、床パネルと水系の間にあてます。ボルトを回しスペーサが水系に軽く触れる高さに調整します。床パネルの水平は出来る限り保って下さい。
- ・レーザーでレベル調整する場合は、かね尺等を使用し、レベルを確認しながら高さを調整して下さい。

注意

- ・製造工程上、ボルト頭部の十字溝に一部変形がみられるものがありますが、不良品ではありません。
- ・インパクトドライバーや電動工具等でレベル調整を行うと、過度な負荷がかかり、ボルト頭部の十字溝及びねじ山が潰れる恐れがありますのでご注意下さい。



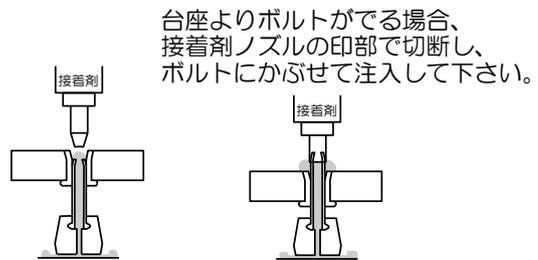
④点検

床全体を歩いて支持脚の「浮き」が無いか確認します。支持脚上を歩いて他よりも柔らかく感じたら浮いている可能性があります。浮いている箇所を発見したら、スラブ面に支持脚が接地するまでボルトを廻して下さい。



⑤接着剤注入

支持脚の上から接着剤を注入します。接着剤が固まるには 1~2 日かかります。



接着剤を入れる目安 YPE-235、WP-215 まで 3ml
 YPE-670、WP-650 まで 5ml
 YPE-1090、WP-1070 まで 7ml

注意 基本数量以下の支持脚には接着剤が入りません。



注意

床上に重量物を置かないで下さい。また、接着剤が硬化するまで人の歩行も避けて下さい。

⑥テープ貼り

床パネルの目地をふさぐように、養生テープを貼ります。但し、捨張り合板をする場合、必要ありません。

⑦捨張り合板およびフローリング

床パネルと直交に貼って下さい。目地と合板の継ぎ目が重ならないようにして下さい。